

常任委員会視察研修報告

総務産業建設常任委員会

日 程 令和2年9月30日(水)

目 的 町内企業視察

視察先 生活協同組合連合会アイチョイス

富加ドライセットセンター(富加町高畑)

出席者 議員/木村、山田、川崎、梅村、佐曾利、井戸、渡邊

帯同職員/足立産業環境課長、亀山議会事務局長



報告者 木村康夫 委員長

高畑地区に、令和2年6月より「アイチョイス 富加ドライセットセンター」が事業を開始されました。議会では、町内の事業所の現況を理解することは重要なことですので、この機会に、新規事業所の理解を深めるために視察研修を実施しました。新型コロナウイルス感染症の状況を懸念し、この視察は当初予定した7月から9月末へと延期になりましたが、事業所のご理解とご協力で実施することができたことを嬉しく思います。

アイチョイスの当町への事業進出は、1. 商圏内でまとまった適価な土地が確保可能で、2. 労働力の確保が容易な人口があり、3. 交通の便利が良いとの条件に合う地域として当町を選択されています。実際に当町には近年、配送センターなど(西濃運輸、藤本食品、KVK)が増えています。この立地は当町の魅力と言えます。

アイチョイスは、あいち生協、一宮生協、生協ぶちとまとの3生協の常温商品を取扱、店舗を持たず会員への商品供給を行う業務を行っており、この施設は、1日約1700~1800品種を仕分けし、7000箱をセットし、会員に届けています。センターはほとんど在庫を持たないクロスドックセンターです。設備はシンプルなレイアウトで、従業員に優しい設備選択により重量物運搬の軽減や最新の2種類のデジタルピッキングシステムや作業記録にカメラ利用などによる高効率化、作業の単純化、ペーパーレス化が図られ、整然とした作業が行われていたことが印象的でした。処理能力的には現状の2倍の余力があり、今後、事業拡大にも対応できる施設とのことです。また、作業環境は全館空調があり、設備騒音も少なく快適な状況でした。従業員は約10Km圏内より通勤しており、町内からは10名ほどと少なく残念ですが、通勤圏内人口から察すると妥当とも思えます。



新型コロナの影響で生活スタイルが変化し、宅食の需要が増し、当初予定の 1.6 倍の仕事量と多忙な状況です。事業開始と需要の増加が重なったためオープニングは大変であったのですが、現状では整然と作業は行われており、設備や従業員（常時 40 名、全員で約 70 名）の能力の高さを感じることができました。会員は現状、子育て世代が利用の中心ですが、生活必需品の宅配事業は利用方法の安易性が進めば高

齢世帯でも有効なサービスとなり得るのではないかと思います。

高齢化社会を迎え、高齢者への買い物サービスと並び衣食住の供給方法として行政との連携はあり得るのではないかと考えられる有意義な視察研修でありました。